

アイヌの信仰

アイヌ文化は、自然への敬意を重視します。アイヌは伝統的に、カムイ（霊）が人間の世界を訪れる、と信じています。カムイは、山・谷・火・水・植物・動物など、あらゆるものに見出される、と信じられています。また、アイヌは、この世界を超えた別の領域がある、とも信じています。そこからカムイがやって来て、この世界での仕事を終わるとそこに戻って行く、と信じているのです。これらの霊に感謝し、霊をその領域に送り返すための儀式が行われています。熊は、山を含む多くのもののカムイだと考えられています。アイヌの猟師が熊を殺す際には、熊に感謝しその霊を見送る儀式を行います。他の重要なカムイには、シャチやシマフクロウなどがいます。シャチは海の霊だと考えられており、シマフクロウは村の守り手だと信じられています。儀式のためには、編んだガマで作った祭壇（ヌササン）を野外に設置し、カムイへの供え物をします。また、祭壇の前には、儀式用に削った木の棒（イナウ）を並べます。この博物館には、儀式に使う品で飾られた実物大のヌササンを展示しています。